

令和8年度大学連携事業
「Life Design & Gender Lab」企画運営業務
公募型プロポーザル説明会

令和8年2月10日(火)

群馬県 生活こども部 生活こども課 男女共同参画室

事業検討の背景等

1 県内大学ヒアリング結果

学生は、学校生活においてジェンダー不平等を経験していないため、課題に気づかない

学生は、「男女共同参画」についてほとんど知らない
「ジェンダー平等」は知っている、興味のある学生は多い

学生時代はジェンダーギャップに気づかないが、社会に出て、就職、昇進、結婚、出産・育児等で初めて気づく

学生に考える機会を提供することが重要

学生のほぼ半数は奨学金をもらっており、学業とバイトで忙しく、公募による参加は難しい

企業連携型の授業、県や市との共同授業・連携授業を実施している

「プロジェクト学習」(テーマごとにグループに分かれ学習)の授業の枠を活用できる

授業時間を活用して実施可能

県内大学にヒアリングを実施
→R8実施可能な大学を選定



事業の概要

1 ねらい

- 若い世代が将来に希望を持ち、自らのライフデザインを主体的に描けるよう支援すること
- 県内大学との連携・協働を強化すること
- 学生が男女共同参画に関心を持ち、課題を検討すること
- 「ダイバーシティマインド」「ライフデザイン力」「問題解決力」を身に着けること
 - ライフイベント等で直面するジェンダーギャップに対し、主体的に課題解決を図れる人材の育成
 - 男女共同参画を推進する人材の育成



2 主な内容

教養科目の下期を担当

- 実施校 : 共愛学園前橋国際大学(90分×15コマ:対象全学年 30人程度)
群馬県立女子大学 (90分× 5コマ:対象2学年 10人程度)
- 実施方法 : 大学の授業時間を活用
ライフデザインやジェンダー平等に関する講演、
課題検討(*）、フィールドワーク、施策検討、
中間発表、最終発表(2大学合同)、tsulunos動画公開
- 実施手法 : ファシリテーター・メンターが
プロジェクト全体を通じた総括・伴走支援を行う

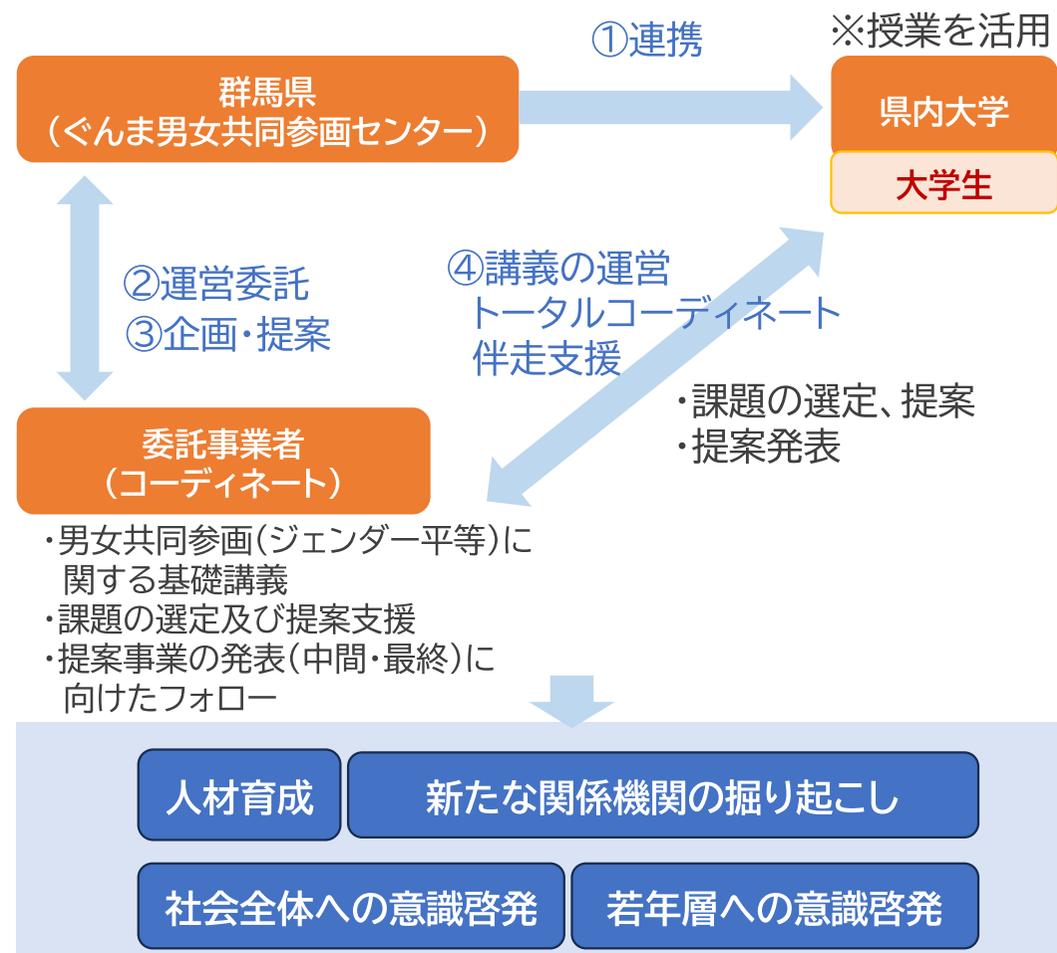
(*例) 固定的性別役割分担意識、
性別による家事育児の負担格差、
若い女性の都市への転出増加 等

事業の概要

3 事業スケジュール(案)

令和8年 3月	委託事業者の決定
令和8年 4月～	調整・打合せ (実施校×委託事業者×県)
令和8年 9月～	プロジェクト開始 ・ 男女共同参画に関する講義 ・ グループごとに課題検討 ・ フィールドワーク ・ 施策検討、発表準備 ・ 中間発表
令和9年 1月頃	2大学合同セッション
令和9年 3月	Tsulunos動画配信

4 事業スキーム(イメージ図)



【参考】過去に実施した大学生対象事業

公募型

※アンコンシャス・バイアス、働き方、健康課題などの講座受講後、受講者同士の意見交換を実施

- ・ 令和3年度 エンパワメント・ユースカレッジ(6日間の連続講座)
【対象者】 県内大学生
- ・ 令和4年度 エンパワメント・ユースカレッジ(6日間の連続講座)
【対象者】 県内大学生
- ・ 令和5年度 大学生サマープログラム～ジェンダー平等で自分らしい未来を考える～(3日間の連続講座)
【対象者】 県内外大学生

学校連携型

※学校の講義の1コマを拝借して実施

- ・ 令和6年度 ジェンダー平等について学ぶ大学出張講座 ～アンコンシャス・バイアスを知って可能性を広げよう～
【第1回】 群馬県立女子大学
【第2回】 桐生大学
- ・ 令和7年度 ジェンダー平等について学ぶ大学出張講座 ～1dayジェンカレ～
【第1回】 群馬工業高等専門学校
【第2回】 群馬医療福祉大学